

# もてなしライオンズカップ

ようこそ高崎



## 群馬県少年剣道錬成大会



### 第34回

### 群馬県少年剣道錬成大会

- 男子一年の部 小林 四年の部 松浦 優勝
- 三年の部 寺本 準優勝
- 二年の部 森平 熱戦惜しくも第三位
- 五年の部 齋川も三位入賞
- 女子五・六年の部 下谷 堂々準優勝



男子小学一年の部優勝小林選手

十一月三日文化の日、



第18号	町内
発行場	原館者
高崎武	高崎支部
高崎行	高崎上條
高崎連	
高崎剣道	
高崎報	
高崎担	

高崎市もてなし広場で高崎支部主催の第三四回群馬県少年剣道錬成大会開催されました。全県下の少年少女剣士たち八百二十余名が集いました。昨年の三三回はカップピアが閉園になったためこのもてなし広場で初めての開催でした。駐車場の問題やいろいろ課題はありましたが支部のみなさんの協力で無事に開催されました。そして今日もてなし広場の二度目の開催です。今回はもてなし広場西側にあった旧日本たばこ産業跡地が大きな駐車場として生まれ



男子小学四年の部優勝松浦選手

変わりましてので前回のように駐車場問題にスタッフの頭を痛めることはもうありませんでした。おきなもてなし広場と大きな駐車場がっぷり四つに組んでほんとうにどんなイベントでもこなせるような高松超シビルフリーグラムスペースエリアとなりました。きっとこれから多くの市民や旅人のみなさんがさらにこの広場で文化と安らぎを求めて交遊していくことでしよう。広場のそれぞれの入口に大会の横断幕が掲げられどの方面からの入場者も歓迎と出迎えました。文化の日にはめずらしいいちよつとどんよりした天気です。大会が終わるまでもって欲しいなときつとスタッフのみなさんはそう折っていたことと思えます。もう朝早くから到着した道場チームは大きなスペースを取って余念のない練習振りでの開会式までに一汗二汗です。

さて開会式が始まりました。選手達が本部席の前に集合しました。こんなに多くの少年少女達が



心豊かな少年少女に：橋本大会長

サッカーや野球に目もくれず剣道してくれていると思うと感激ですね。大会会長の橋本高崎支部長が次のように挨拶されました。「いま私もスタッフの心配は天候が曇っていることです。どうぞみなさんの熱気で上空の雲を吹き飛ばしていただきたい。今日は県下の多くの少年少女剣士達が揃いました。日頃鍛えた技と心をこの試合の場所ですべて発揮して下さい。清く正



大谷ライオンズ会長

しい、立派な少年少女らしく公明正大に、そして勝った負けたに憂することなく剣道の良さ、素晴らしさを再確認してください。またこの場で多くの剣士達と交友の場を広げ心豊かな少年少女に成長していただくこと、また大会名誉会長長島剣道連盟中島会長は「いまわ



砂田教育長

しい事件が起きている。剣道人からは決してそのような輩は出してはいけない。剣道は礼に始まり礼に終わる。その延長は人を大切に思うことだ。どうぞこのことを心に命じて剣道をしていただきたい。」と挨拶されました。高崎市砂田教育長か



も大会運営にひとかたならぬ助力をしていただいた中央ライオンズクラブの大谷源太郎会長さんは挨拶でクラブの日頃の活動などを紹介していただき、今日の活動のメインは今大会の助力と献血運動の啓蒙であることも紹介していただきました。会場の片隅に献血車が陣をとっています。現代社会は日進月歩の速さでいろいろな技術が開発発展してきていますが人の血液はまだまだ作ることができません。血液はまだまだみなさんの善意に頼らざるを得ないので。血液だけではありません。まだまだ、と言うよりも永遠にこの社会は人の心の有り様で悪しき社会にも良き社会にも簡単に変わらうるものです。人を思いやる心はやはり安穩な人間社会創造のための心のベースではないでしょうか。



さて審判長の訓辞です「けがのないよう子どもらしい試合を」と飯塚副支部長が行いました。選手宣誓です。今回は昨年5年男子の部で優勝した月夜野町東部剣道愛好



宣誓：佐藤選手

会佐藤三選手です。雲天にこだまするような大きな声で正々堂々と宣誓いたしました。いよいよ十四の試合場で熱戦が繰り広げられ始めました。係のみなさんには地元高崎市の中学生に今年もお願いした。中学生の援助なくしてはこの大会も運営ができません。さて地元高崎勢の今年の活躍はいかがだったでしょうか。まず第十三試合場でしてやったり。中島道場の小林大輝選手。男子一年の部で優勝だ。お名前のおりこれは将来のタイキかもしれない。十月に行われた市民大会に続いての連続優勝です。そして四年の部で松浦倫仁選手

も市民大会に続く連続優勝です。その他中島道場のみなさんが頑張りました。男子二年森平選手第三位入賞、三年生の部寺本選手も準優勝、五年生の部で齋川選手が第三位、女子では六年生の部で同じく中島道場下谷選手が堂々準優勝をかざりました。この中で記憶に残るのが三位にとどまったものの大熱戦を繰り広げた森平選手の準々決勝戦だ。相手は館林の館野選手。お互い休むことなく目一杯攻めせめだが、なかなか技が決まりません。森平得意の引き



大熱戦森平(左) 館野選手

胴技を再三放つが審判旗は上がりません。延長も大延長になってしまい、

審判先生の裁量で両者息の整え時間を授けられる。さらあ再戦だ。大きな声で森平選手攻めます。その内に再三放った引き胴技がバツシと音を放った。同時に審判旗が森平に高揚しました。これらの選手のほか数名の高崎の選手達がベスト8に入賞しました。全般的に東毛の選手達が活躍をしたように思われます。今年も見てもやっても楽しい風船割り大会が行われました。早くも敗退してしまつた子どもたちが多くエントリーしました。この風船割りがまた勝手が違つてつけられた風船めがけ渾身の面技を仕掛けるも風船が笑っているが如く右へ左へ動いてしまいなかなか割れません。その内に風船が取れてしまつたり。バカんと音をたてて割れると



的はでっかいんだけど、われないんだよね



試合が終わればお祭りさね

の音と一緒に吹き飛んでしまうようです。そして試合が終われば即録日です。会場南側には焼きそばクレール串物などなどいろんな出店が立ち並ん

さすがにヤツタ！とゆう感じですかね。その時本試合で負けた悔しさもそ



新高尾クラブから若手女性が応援

彰状も世界に二つとない選手だけの思いでの賞状です。大切にしてください。なんとかそれなりに持ってくれたお天気に感謝しつつ大会が今年も無事に終了しました。終了後、高崎駅ビルで応援してくださいました支部のみなさんを交え反省会が盛況に開催されました。



# 第28回 西毛地区剣道大会

## 借念 団体 準に下る

### 一般 小学男子はいざやったい! カップゲット



一般男子部門優勝のみなさん



十一月四日、第二八回西毛地区剣道大会が開催されました。主催持ち回りのこの大会。今年度は安中碓氷支部の主催で梅林



小学男子部門優勝のみなさん

に到着します。ここに今日、西毛地区の剣道好き、子どもから大人までこぞつて百七十余名が集まりました。センター入口には”新島襄ゆかりの地あんなか”と銘打ってあります。群馬県人であればだれでも上毛カルタで”へ”といえは

”へいわの使徒新島襄”と考えなくてもすらすらと口から出てきます。天保十四年に大江戸神田の安中藩の江戸屋敷で生まれた彼は長じて二十一歳のとき国禁を犯し密航渡米。パーモン

で著名な秋間の里の入り口、安中市スポーツセンターで行われました。中山道にそった烏川を秋間の里へ。峰々は秋色をベールの様に厚くしており、時を費やすことほどなく安中市スポーツセンター

ド州でキリスト教の洗礼をうけおよそ十年の間アメリカの地で暮らします。帰国した時はすでに日本は明治の時代になっておりました。新島は帰国後キリスト教の布教と併せて力を注いだのが教育の普及でした。まさに”国運の消長は教育にあり”と。○から始まった明治近代社会、日本の将来を見据えるになさねばならない大事。それが教育の普及である

と新島は考え、京都同志社大学の建学にその後の生涯をすべて費やしていったのであります。また新島の意志は地元安中でも継承され新島学園が建学されております。このような新島襄のゆかりの安中、さらに安政の遠足でも有名です。今でも十一月二日に行われております。そうそう今日の大会のパンフの表紙にも遠足の切り絵が刷り込まれておりました。江戸の時代も三百年とずっと平和な世の中続きで、と

安政の時代ともなると侍達も相当に体が柔くなってしまったのであろう、いまの私達のように。それを憂えたのが十五代安中藩主板倉勝明です。安中城から中山道碓氷峠頂上熊野神社まで駆け足での遠足を藩士に勧めたのであります。それらの記録は”安中城内御諸士御遠足着帳”との古文書にあるものであります。日本



で最初とも言えるマラソン大会はいま安中のみなさんの手によりさらに未来へと継続されております。この日にはいろいろな人達がいろいろな出で立ちで、走ることに楽しさを満喫し中山道道筋を視察にも楽しませてくれております。

さて大会の様子です。支部が送り出した選手は総勢三十一名、小学生から高校生は市民大会の実績と日常の剣道に対する姿勢を加味して選抜されました。高校生の各陣容をみるとこの大会は出身

### 大会出場選手

- 【小学女子】 先鋒 神頭葉月 中堅 井上紗綾 大将 下谷南彩美
- 【小学男子】 先鋒 賀川大地 次鋒 関口佳央 中堅 鈴木崇平 副将 加部達哉 大将 亀井元太
- 【中学女子】 先鋒 須藤輝 中堅 松浦加奈 大将 市川祐里佳
- 【中学男子】 先鋒 川山宗佑 次鋒 山田康平 中堅 高橋武尊 副将 岩崎敬 大将 庭屋貴史
- 【高女一般】 先鋒 矢内千春 次鋒 杉田なつみ 中堅 田代敦子 副将 中島亜耶 大将 磯部摩耶子
- 【高校男子】 先鋒 大澤剛 次鋒 三浦陽一郎 中堅 亀田裕昭 副将 木村俊介 大将 小幡諒
- 【一般男子】 先鋒 小笠原俊介 次鋒 西山篤史 中堅 川原稔永 副将 清水弘久 大将 時田一成

【総監督】 藤木正行先生

(みなさんお疲れさまでした)



地区対抗だから普段高崎の高校チームで活躍する仲間同士が対抗するケースが数ある。それぞれの選手の出身地がよくわかります。各部門では男子一般がしてのけてくれました。初戦から強豪群馬郡チームと対戦です。先鋒から副将まで相譲らず大将戦となりました。大将時田、高崎へ転勤してきて間もなく、この大会は初めての出場です。双方相手を窺いながら慎重な立ち合い振りである。相手大将森田が小手に返しました。絶妙にこれを返して時田すかさず面にでる。見ていたため息の出るような面技が決まり勝敗を決しました。そしてこのまま乗ってゆくかと思いきや最終戦安中碓氷戦に苦戦いたします。勝負が



一般対安中碓氷代表者戦：川原（左）

決まらず代表決定戦となりました。高崎チームの代表に推されたのは農二で教鞭をとる川原選手です。相手チームは高橋選手。まだまだ若手の高橋選手川原選手の攻めに思わず面を誘われる。待っていましたとそこへ絶妙の出小手技を放つ川原。決まった。この一手により勝敗が決し高崎チームの部門優勝が決まりました。次にヤツタのが小学男子チームです。こちらも最終戦苦戦です。相手は甘楽富岡チーム。双方



小学対甘楽富岡代表者戦：亀井（左）

星を分け二一二で勝敗決せずこちらも代表決定戦となりました。高崎は亀井選手選抜、甘楽富岡は小兵石井選手です。石井選手小兵なれどその動きは俊敏そのもの。さらに

防衛が巧みだ。亀井選手かなり手こずります。しかし亀井選手も徐々に石井選手の動きが読めてきました。石井選手の一息の瞬間を待ってグット攻め込み思いつきり面にでました。アツツ決まりました。苦戦のなか我慢の剣道が結果を出しました。小学男子部門優勝です。その他の部門も頑張りました。小学女子が第三位、女子中学二位、女子高校一般が第四位、高校男子が第三位の結果になりました。さて昼食時にはアトラクションも披露され私達は和太鼓の競演を味わうことができました。安中谷津太鼓保存会小学生から大人の皆さんによる太鼓の競演です。かなり以前から



迫力の安中谷津太鼓のみなさん

太鼓については我が国の文化として見直されております。佐渡の鬼太鼓そして北陸の御神乗太鼓その他各地に残る太鼓文化です。高崎にもありますよね頼政太鼓。藤岡には管領太鼓など。太鼓の音はいいんだ。なぜかよし

やってやるなんて気分にかけてくれる。だから剣道も稽古の前に、どん@どうん@どうん@どんと鳴らしますよね。剣道には無くってはならない代物であります。剣道の打突は、一打ちひと打ちが太鼓の音の如く後に余韻が残るほどの一心のものであります。

さて、昨年富岡大会で奪還した団体優勝旗だが、なかなか連続は難しいものです。今大会は多野藤岡地区チームが女子高校一般の活躍などで優勝し高崎チームは僅かに及びませんでした。また来年奪還に向けて高崎のみなさん頑張りました。

**県民秋季大会**

**天に 一刀 及ばず**

笠井副支部長の観戦記

☆☆ 11/6ぐんま武道館

ぎた感あり。分けた。四将健太郎。相手はなんと二刀流。野嶋形健太郎選手。おまちどうさまと二刀流ものとせず面技胴技で二本勝ちの快勝。自信満々の健太郎選手でした。三将石田一回戦目意に添わぬ引き分け。この立ち合いは気合いが満タン。ターボチャージの持ち前の面技二振で決す。副将中曾根も拙者もと見事二本奪取。この時点でチーム勝利が確定しました。大将戦は長井。面金の間から厳しい双眸が窺えます。残念ながら二本を失いましたが高崎の大將らしく堂々真つ向から攻めました。二回戦はすばらしい御立ち合いであったように思う。さて決勝は向こう正面から沼田勢が攻めてきました。この勝負もみな好試合の連続でしたが戦績一二の結果で僅かに天に及びませんでした。来年は天上にと念ずる一戦でありました。

一回戦太田チームと対戦である。私の見込みは大方楽勝とみた。予想のとおり先鋒から四将までがっちりポイント。後の三将は気楽に立ち合いを満喫。それぞれ引き分けチームは楽勝しました。二回戦は桐生チームと対戦だ。双方一回戦を戦って心身共に盛り上がっての臨戦だ。まず先鋒西山一回戦ではさい先の良い二本勝。この立ち合いもいけるかな？と思いきや相手もなかなか巧者二本を失ってしまった。奮起した次鋒岸本笑顔の優しそうな選手が面を装すとその双眸がきりり。二本勝ちだ。五将小笠原普段から慎重な剣風。この立ち合いは少し相方を見過

- 選手のみなさん
- 先鋒 西山篤史
  - 次鋒 岸本拓也
  - 五将 小笠原俊介
  - 四将 高橋健太郎
  - 三将 石田寛
  - 副将 中曾根裕和
  - 大将 長井憲一
  - おつかれさまでした。



# 平成17年度

# 上位もどくせぬ☆☆☆ TAKASAKIの剣士たち 高校一年生大会

入賞の皆さん：(表彰側から) 新井、山田、吉川、坂庭、中根、今井、林、磯



## 決勝は男子新井・山田 女子は 中根・今井 いづれも健大同士

十一月五日、ぐんま武道館で平成十七年度群馬県高校一年生剣道大会が開催されました。高校生ともなると体はぐんぐん大人になるし心もぐんぐん大人になります。だから一年生とは言えど輝きに対する存念はもう一杯だ。チームの主軸の二、三年生の陰でもんもんとしている一年生剣士諸君にはもってこいの大会です。輝きたいだけ輝いてほしいこの大会です。通常の高校の大会よりはさすが人数も一年生だけと二階の混雑具合も少し緩やかです。しかし我が子

が出る大会はどんな大会でもインターハイと抱える親御さんは真剣そのものです。この大会はすべて個人戦で、一回戦二回戦あたりはまだまだ中学を卒業していない剣道も目立ちます。みんな面を外せばまだまだ初々しい皆さんばかり。さて高崎の高校の皆さんの活躍は？・・・もう燦々に輝いてしまいましたよ。なんと男女とも上位を独占しましたのですよ。特に健大高崎のみなさんの活躍には脱帽です。男子は上位に三名が入賞。当然決勝は健大高崎の剣士同士になり、新井山田の対戦です。一方女子も健大同士の決勝で中根今井の争いとなりました。両戦とも家族のように密着しているもの同士、手のうちは当然好物まで知り尽くしているもの同士の戦いだ。なかなかやりずらいものなのだろう。男子戦は後半、新井選手が山田の渾身のお小手技を瞬時に摺り上げ面に跳んだ。これが決まりそのまま勝負を決しまし

た。女子戦は延長だ。パワフルな中根選手の攻めだが、知り尽くす今井はこれを巧に逃れます。中根一本技から連続技攻めに変えて小手面、これが見事に決まり勝負を決しました。健大高崎はずでここうした一年生チームで各大会を臨んでおります。これからもっともつとスケールの大きなチームに発展するに違いない。

### 大会結果

#### 【男子】

- ①新井 (健大) ②山田 (健大)
- ③吉川 (健大) ③坂庭 (高崎北)

#### 【女子】

- ①中根 (健大) ②今井 (健大)
- ③林 (高女) ③磯 (高崎東)

それだけに多くの剣道好きの注目を得ることになる。だから高校生らしく剣士らしくさわやかなチーム作りをなお一層期待し、観戦する人に感動を与えるそんな剣道を目指して行ってほしいと思います。上位に入賞しなかった選手でも目を引いた選手も数多い。商大女

子の唐澤、相手の面をかましながらの面技はなかなか高校女子では見られない。今日は結果が出ませんでしたが小田本など快活な剣道に大変期待しております。また北高の南、独特な抱え技が持ち味。パワーをもっと備えれば上位も狙える。それに男子農二中津や東高の小川など。まだまだ先はある。一年後二年後みなさんはどのように変身してゆくのでしょうか。



北高：南選手 (左)



商大：唐沢選手 (左) の絶妙な面技



# スポーツ少年団 高崎剣道交流大会



笠井大会委員長

十一月二三日、高崎武道館で高崎市スポーツ少年団剣道交流大会が開催されました。支部では年の最後の大会です。八道場総勢



入賞者のみなさん

開会式では大会委員長の笠井副支部長が「少年少女剣士らしく正々堂々と」と挨拶をされました。試合は三会場で実施されそれぞれ熱戦が繰り広げられました。小学生女子の部一・二年は小林楓

選手が昨年引き続きカッパ。四・五年下谷選手も連続だ。中一岡田、中二市川も貫禄の連覇です。男子一年小林選手、もてなし大会に続く連続優勝目下敵なしです。小二の森平、小三寺本も昨年に続く連続優勝。小六は増野、山崎の同朋決戦。増野に軍配です。中

一では剣道教室の西岡選手が快挙です。なかなかこれまで勝てなかつたが中学に入ってからめき力を付けてきました。混戦の中二は下谷選手がカッパで選手が小学生のみです。小学生のみなさんはこの大会で剣道オフシ

選手が小さな体で頑張りました。三年は山田

## 第27回 高崎市スポーツ少年団 剣道交流大会 結果

- 小1・2女 ①小林楓(中島) ②吉野(高野少) ③黒澤忍(慶雲館)
- 小3女 ①山田美香(中島) ②神宮(新高尾) ③高橋知(金井) ④湯浅(高剣教)
- 小4・5女 ①下谷南彩美(中島) ②間(高野少) ③星野 ④黒澤忍(慶雲館)
- 小6女 ①井上紗綾(新高尾) ②沼沢(高野少) ③西澤(中央) ④佐野(金井)
- 小1男 ①小林大輝(中島) ②丸山(中島) ③加藤(中島) ④相馬(中島)
- 小2男 ①森平雄太(中島) ②時田(中島) ③中山(中島) ④佐藤(高野少)
- 小3男 ①寺本欲得(中島) ②豊泉(中島) ③芝尾(高野少) ④大原(金井)
- 小4男 ①松浦倫仁(中島) ②岡本(高剣教) ③代(高剣教) ④榎田(中島)
- 小5男 ①豊川智弘(中島) ②神宮(新高尾) ③高橋洋(中島) ④梅山(金井)
- 小6男 ①増野拓海(金井) ②山崎(金井) ③松浦修(中島) ④西井(高野少)
- 中1女 ①岡田沙希(須田) ②原沢(須田) ③吉沢(慶雲館) ④櫻井(慶雲館)
- 中2女 ①市川祐里佳(中島) ②須藤(高野少) ③井田(中島) ④松浦伽(中島)
- 中1男 ①西岡千洋(高剣教) ②須賀(須田) ③新井(中島) ④城田(中島)
- 中2男 ①下谷巧(中島) ②亀井(中島) ③長谷川(須田) ④庭屋(中島)



中一年男子決勝西岡(左)須賀(右)

## ダンポポつつじにチャレンジ 第7回 つつじレイス剣道大会

併催 第1回 群馬県高齢者剣道交流大会

### 尾曳のさと 館林城沼体育館

この大会は、女子の大会とあつて、蒲公



親子で参加：新井美帆選手

十一月十三日、館林城沼体育館で第七回つつじレイス剣道大会が開催されました。秋色濃くなる城沼かいわい。ここは館林城の城跡地である。武将榊原康政が城の構築に悩んでのなか、その夢枕にひと匹のきつねさんがコーンと登場。その見事な黄金の尾っぽでいきにお城の絵図面を書き上げるのです。そして完

成したのが館林尾曳城です。現在は城跡のみです。が上州の名城として歴史研究家の間で知られています。この大会は、女子の大会とあつて、蒲公

英の会から六名の皆さんが挑戦しました。結果はどうであったでしょうか。なかなか本番はむずかしいね。それに他県の参加者も数多く結構ハイレベルな選手も多く見うけられました。でもリーグ戦なので一戦のみで”はいさようなら”はなく二戦目、三戦目と立ち合いの感触を十分楽しめたのではないのでしょうか。また来年も挑戦してください。レディース戦の終了した後、第一回群馬県高齢者剣道交流大会が開催されました。初めての大会です。高崎支部からは秋野七段が挑戦しました。リーグ戦で一勝したもののトナメントへは登れませんでした。力が、気が、胴が、抜かえまし



構え崩れず秋野七段

今年も最終号は遅くなってしまいました。お手元に届くころは除夜の鐘も鳴り終わってしまいかも知れません。もう年の瀬です。支部の行事も滞りなく無事に済みまして。来年一月には高崎も合併によって新しく生まれ変わり、多くの仲間が増えることとなります。支部の環境もいろいろ変わって来ると思いますが切磋琢磨の仲間達が増えるのだから力のレベルアップにもつながると思います。この「たそがれ」も少し広報範囲が広がるのかなと戦々恐々。もしそうになったら誰か助太刀を！武士の情け御すけだちを！あたらしい高崎の誕生日は一月二三日です。 広報 上條

## 祝 難波 藤作さん 六段合格

NTTへ勤める傍ら金井道場で少年少女剣道の指導している難波さんが難関を突破し見事に六段審査に合格をされました。五段を取得してからの相当の年月です。思い立っての六段挑戦が実現しました。これでますます剣道にのめり込みますね。次は七段挑戦に頑張ってくださいと思います。

ご苦労からお喜びの中心上げます。



### 編集後記